※記入の際は，油性ボールペンを使用してください。

様式第２号（第６条関係）

令和　6　年　○　月　○　日

利根町教育委員会　様

申請者（保護者）　住所　利根町○○番地□□

氏名　利根　川男

連絡先　○○-○○-○○

押印不要

入学準備金就学援助認定申請書

入学準備金の就学援助の認定を受けたいので申請します。なお，入学準備金就学援助費の申請にあたり，教育委員会が，同一住所地に居住する者及び同一生計世帯に属する者の世帯の構成及び所得の状況等を確認するため，住民基本台帳及び市町村民税に係る課税資料並びに下記申請理由の各制度の受給状況等の情報を閲覧すること，振込口座の確認のため学校に引き落とし口座を確認することに同意します。また，学校徴収金に未納がある場合（兄弟分含む）には，就学
に同意します。

令和７年度の新入学校

対象児童生徒	氏 名（ふりがな）	生年月日	学校名	学 年
	利根　花子（とね　はなこ）	平成○年○月○日	○○小学校	1
	利根　次郎（とね　じろう）	平成○年○月○日	○○小学校	1

家族欄（同一住所地に居住する者及び同一生計世帯全員）	氏 名（ふりがな）	児童生徒との続柄	生年月日	勤務先又は学校（学年）
	利根　川男（とね　かわお）	父	昭和○年○月○日	（有）□□□会社
	利根　良子（とね　りょうこ）	母	昭和○年○月○日	無職
	利根　太郎（とね　たろう）	兄	平成○年○月○日	○○県立○○高校2年

家族構成の欄は，同一住所に居住する方・同一世帯の方及び住所や世帯は別だが生計を同一にしている方を全員記入してください。

入学準備金就学援助を必要とする理由（経済的に困っている状況を具体的に記入してください。）

家計は父親の収入のみで月10～12万円程度である。父親は健康面で不安を抱えており，現在病院に通院している状況でフルタイムで働くことが困難である。収入の中から家賃等の支払いもあり，家族4人が生活していくのが厳しいため，経済的な支援を希望する。

「生活が苦しいため」ではなく，**具体的な理由**が分かるように詳しく記入してください。

住宅の形態（該当する番号を○で囲んでください。）

１　持家　②　借家・借間（家賃：月額　50,000 円（共益費・駐車場代は含みません））

※最新の契約書等家賃の金額が確認できる書類の写しを提出してください。

賃貸住宅に居住している場合は，家賃の金額が確認できる書類の写しを必ず添付してください。

（裏面へ続く）

前年度又は現年度において，次のいずれかに該当する場合は，○を付けてください。

①生活保護法に基づく保護を受けている。
②生活保護法に基づく保護の停止者又は廃止者である。
③市町村民税が非課税又は減免されている。（世帯全員）
④個人の事業税が減免されている。
⑤固定資産税が減免されている。
⑥国民年金保険料が免除されている。（世帯全員）
⑦国民健康保険税が減免又は徴収の猶予がされている。
⑧児童扶養手当を受給している。
⑨生活福祉資金貸付制度による貸付けを受けている。
⑩その他生活保護法に規定する要保護者に準ずる程度に困窮している。

あてはまるものに○をしてください。わからない場合，⑩に○をしてください。

振込口座（申請者（保護者）名義の指定口座）を記入してください。

金融機関名								支店名		預金種別
常陽							銀行 信金 労働金庫 農協	利根	支店 支所 出張所	普通 当座
口座番号	1	2	3	4	5	6	7	口座名義		
								ふりがな	とね　かわお	
								利根　川男		

※入学準備金の受給後，入学予定者が町外へ転出した場合は，転出先の自治体と協議の上，返還を命じることがあります。

※入学準備金については，入学前に審査を行いますが，入学後の就学援費については，入学年度の基準で再度審査を行います。そのため，入学準備金と入学年度の就学援助費の審査結果が異なることがありますので，了承ください。

原則，申請者名義としてください。